

入間野小学校だより6月号

令和4年6月1日(水)

狭山市北入曾980 TEL 04-2958-2718



～みんなが大切にされる学校～

校長 丸山 丁士

「**いるまの**」**「仲よくする子 考える子 やりぬく子」**の育成

～6年生を見れば、その学校がわかる～

ちょうど一年前の学校だより6月号の冒頭に「先月末には走り梅雨を思わせる日もあり、…」と書きましたが、今年の5月末はそんな気配が一切感じられず「薄暑」どころか東京都心は連日の「夏日」となりました。

時を同じくして、政府からはマスク着用に関して新たな見解が発表されました。参考までに、埼玉県内の新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるものの、昨年同期のおよそ7倍です。



先月24日(火)、6年生の社会科見学
に同行しました。目的地は、東京都千代田区永田町1丁目と北の丸公園2番1号。『国会議事堂』と『科学技術館』です。

セルリアンブルーの空をバックに若葉がまぶしく感じられたこの日、国会議事堂から南に歩いてほんの数分の所にある2丁目の『首相官邸』では、奇しくも“日米豪印首脳会合”が催され、周辺ではパトカーを始めとする各種警察車両やイヤホンに耳にした私服の警察官を多く見かけました。

また、衆議院議員会館前では雇用に関するデモが繰り広げられるなど…日本の政治の中心地・永田町はいつになく物々しい雰囲気にも包まれていましたが、入間野小の6年生たちはといえば、こうした非日常の中でも、いつも通り明るく元気に夏日の一日を過ごしていました。

科学技術館では、最初は「ちょっと長いかな」と思われた1時間40分の見学時間が、班行動とマナーをしっかりと守り、お互いに協力しながら、興味津々なまなざしで各ブースを見学する児童たちといっしょにいたこともあり、とても短く感じられました。

館側からの「見学後の再集合は10分前行動はダメ、5分前行動で」という難しいリクエストも完璧にクリア!…お見事でした。

お待ちかねのお弁当タイム。北の丸公園内の木漏れ日のもと、入間野小児童たちの周辺は、一人一人がコロナ対策を意識して粛々としており、舌つづみを打つ音が心地よく鳴り響いていました。

すぐ近くには、あの「大きな玉ねぎ」を頂いた『日本武道館』がそびえていましたが、子どもたちは無関心なようで、バスガイドさんの案内にも“きょとん”としていました。『武道館』といえば、「武道の聖地」

であることはもちろん、世界的にもロックコンサート会場の代名詞的存在として知られています。私も、高校生の時に「クイーン」、教員になってからも「ジョージ・ハリソン with エリック・クラプトン」のコンサートに行きました。そんな憧れの地なのですが…

昼食後も国会議事堂見学やバスレク、到着の集いに至るまで、実行委員を中心として一人一人が生き生きと活動していました。

「6年生を見れば、その学校がわかる」と言われますが、この日の6年生の生活・行動ぶりを見た多くの人が「この学校は良い学校だな」と感じたと思います。今後のミニバス大会や修学旅行を始めとした諸行事、そして学校生活そのものの充実に大きくつながる社会科見学でした。

6年生のみんな、そしてコロナ禍においての実施にご理解とご支援をくださいました保護者の皆様…ありがとうございました!

(5年生「宿泊学習」については、次号でご紹介します)

コミュニティ・スクール発足!

今年度「学校運営協議会」が設置された本校は、コミュニティ・スクールとしての新たなスタートを切ります。行政機関や認定こども園、地域や保護者の方など総勢11名の委員で構成されています。

「地域と一体となって特色ある学校づくり」を推進してまいります。委員以外の保護者の皆様のご理解とご支援も欠かせません。(この制度についての詳細はこちら→)



マスク着用に関する新見解

これについては、近日中に市教委等から共通の指針が出される予定ですが、政府からはマスクを外せる場面の例として「徒歩での通学」とありますので、本校でも(特にこれからの夏場は)「会話をほとんど行わない」ことをふまえて、登下校時のマスク着用は必要なしと指導する方針です。(着用を禁止するものではありません)

